

日常生活の中で

「今日から、私たちのグループは何のお当番？」一週間ごとに交代する当番活動をとて楽しんで、やる気満々の子どもたちです。年少・年中・年長児ともに、クラスの中でグループごとに当番活動を行っています。その中でも年長児の当番活動には、「食器並べ」や「花の水やり」という、園全体に関わる当番活動も入っています。

「食器並べ」は、簡単に言うと、給食後、自分たちで水洗いしたお皿を給食室前の食器ケースに、きれいに整頓し、並べるという活動です。基本的には、どの学年のクラスも、自分たちの使った食器は、自分たちで給食室前まで運んでいきます。すると、当番の年長児が、食器ケースの前において、とてもきれいに並べてくれるので、年少・年中児が安心して渡していくのです。それだけではなく、カゴを持ち、年少・年中児部屋を回り、洗ったお皿があれば、カゴに入れて運んで来てくれます。「ももぐみさん(年少児)食べるの、ゆっくりだもんね。お皿、持って来てあげようよ」こんな声が続えませんが、毎日のごちそうが、優しい心を持つ子どもたち

ちの声を聞いて、えらいなあと思ひ、また、うれしく思ひながら見守っています。

今、年長児が年少児や年中児の子どもたちに、こんなにも優しくできるのは、きつと、現在小学一年生のお兄さん、お姉さん

す。

花の水やり当番の子も、この水やりの時間をどれほど待っていることでしょうか。「先生、もう、お花さんに水あげてきてもいい？」と待ちきれない様子です。

自然に植物への優しさが芽ばえてきました。「あさがおさん、芽がでたかな。見に行ってみようよ」と先生も誘ってくれます。そんな時、ピョコッと顔を出している緑の芽が見られると、心の底から子どもと一緒に喜び合えるのです。



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議



んたちに、去年まで優しくしてもらっていたからでしょう。そういう姿をしつかり見ていたのだと思います。そして、自分たちがしてもらったことを次は自分たちがしてあげるのだという思いの表れのような気がしま

年長児のクラスでは、一人一鉢、あさがおを育てていて、みんな花が咲くのを楽しみにしています。あさがおだけではなく、園庭には花壇もあり、きれいな花が咲いています。この「水やり当番」という活動があつて、

今では、食器並べや花の水やりのような活動があたりまえになり、習慣として日常生活に入っています。あたりまえのことが一生懸命できる姿、基本的なことがしつかりできる姿を大切にしていきたいと思ひます。そして、来年には、今の年中児のクラスの子どもたちが小さいクラスの子どもたちに、優しくしてあげたいなという気持ちを持つようになるようになってくれたらうれしいです。

これからも、日常生活の中で、明るく元気な子どもたちのステキなところをたくさん見つけていきたいものです。そして一緒に、成長していきたいものです。

笠松幼稚園

教諭 石原愛美

9/9~15 「救急医療週間」

9月9日は
「救急の日」

